

6 泌尿器科臨床研修プログラム

研修期間：自由選択（外科系）：8週間　＋　自由選択：（最長）35週間

【一般学習目標】

腎・尿路疾患のプライマリ・ケアができるように、疾患の診断・標準的な治療・基本的な処置についての知識を習得する。代表的疾患に関しては自分自身ので、複雑な疾患については指導医と相談しながら的確に対応できる能力を取得する。

【個別学習目標】

・ 診 断

1. 陰茎・尿道・陰嚢などの診察を行い、異常所見を識別できる。
2. 前立腺の触診を行い、正常例・肥大症例・癌の典型例との鑑別ができる。
3. 背部痛・側腹部痛を主訴とする尿路結石と他の急性腹症との鑑別診断ができる。
4. 陰嚢部痛をきたす疾患の鑑別診断ができる。
5. 下部尿路症状を客観的に評価し、鑑別診断のための計画を立てることができる。
6. 血尿をきたす代表的な疾患の鑑別診断ができる。
7. 尿路性器感染症の診断ができ、治療計画を立てることができる。
8. 泌尿生殖器の悪性腫瘍の検査法・診断法を理解し、治療計画を立てることができる。
9. 停留精巣や尿道下裂を診断し、治療計画を立てることができる。
10. 副腎腫瘍、後腹膜腫瘍の検査計画を立て、鑑別診断ができる。
11. 急性腎不全、慢性腎不全の病態を理解し、治療方針を立てることができる。

・ 検 査

1. 指導医のもとで膀胱鏡検査を行うことができる。
2. 経腹的・経背的に超音波検査を行い、腎臓・膀胱・前立腺の主要な所見を判断できる。
3. 腎臓膀胱部単純X線検査（KUB）の所見を正しく読影できる。
4. 経静脈性腎盂造影（IVP）の所見を理解できる。
5. 尿道造影・排尿時膀胱造影を行い、所見を理解できる。
6. 指導医の介助のもとに、逆行性腎盂造影を行い、所見を理解できる。
7. 尿路生殖器疾患に対するCT、MRI、RI検査の適応を判断し、適切に依頼できる。
8. 尿力学的検査（尿流量測定、膀胱内圧測定）を行い、所見を理解することができる。
9. 透析患者における検査値の解釈ができる。

・ 処 置

1. 泌尿器領域の急性疾患の初期対応ができる。対象：腎外傷、尿道外傷、結石

の疝痛発作、尿閉、急性陰嚢症

2. 泌尿器科主要疾患の術後管理ができる。
3. 手術法の原理と術式を理解し、指導医の介助のもとに包皮環状切開、精巣摘出術、膀胱瘻造設術、膀胱高位切開術、腎瘻造設術、陰嚢水腫根治術などを執刀できる。
4. 手術法の原理と術式を理解し、膀胱尿管新吻合術、腎盂形成術などの手術において第1助手を務めることができる。
5. 手術法の原理と術式を理解し、根治的腎摘出術、尿路変更術、前立腺全摘出術などの手術において第2助手を務めることができる。
6. 経尿道的手術（TUR-P、TUR-Bt、尿管鏡など）において、手術器具、カメラ装置の構造を理解し、手術の準備ができる。切開・凝固の基本操作ができる。
7. 鏡視下手術（副腎摘出術、腎摘出術など）において、手術法の原理と術式を理解し、手術の介助ができる。
8. 血液透析・腹膜透析の基本原則を理解し、基本操作ができる。合併症について理解し、対策を立てることができる。

【教育関連行事】

- ・月一金曜日 午前8時15分からカンファレンスと透析回診
午後5時 夕回診
- ・火曜日 午後3時30分からレントゲンカンファレンス
午後6時から指導医による講義などの学習会
第3火曜日午後3時 透析カンファレンス
第4火曜日午後3時30分 総回診とカンファレンス
- ・釧路根室地区泌尿器科研究会（当科が事務局を担当）の発表会および講演（年3回）
- ・日本泌尿器科学会北海道地方会の発表（年3回）
- ・釧路根地区透析研究会（毎年10月－11月）の発表